

令和3(2021)年度 第一回

東山道と奥州街道を訪ねる旅 (その3)

5月9日(日)・越河歴史探訪会

越河の史跡 を訪ねる旅

9:00郵便局⇒越河駅前広場にて案内人佐藤充氏を紹介⇒大平の大平神社(泰衡館跡(前回のゴール&今回の出発地))⇒北六角(北にある分岐点)⇒福岡の薬師堂(神道の鳥居をくると仏教の薬師堂があった)⇒森合の月心院跡(阿梅の墓)⇒諏訪神社(草鞋に挟まった小石が現在高さ2mにおがった石を祀ってあった)⇒福岡小学校にある陣場山館跡⇒長袋の神明社⇒八宮の水分(みくまり)神社(白鳳8(680)年奈良県吉野町の蔵王権現を不忘山蔵王大権現(奥宮)として祀り紆余曲折を経て、明治2(1869)年水分神社と改称)⇒堂田跡地⇒郵便局12:00



大平神社(泰衡館跡)は、現在『雷神社』となっている



タイサンボクの白い花(水分神社)

『泰山木』のタイは泰衡の『泰』

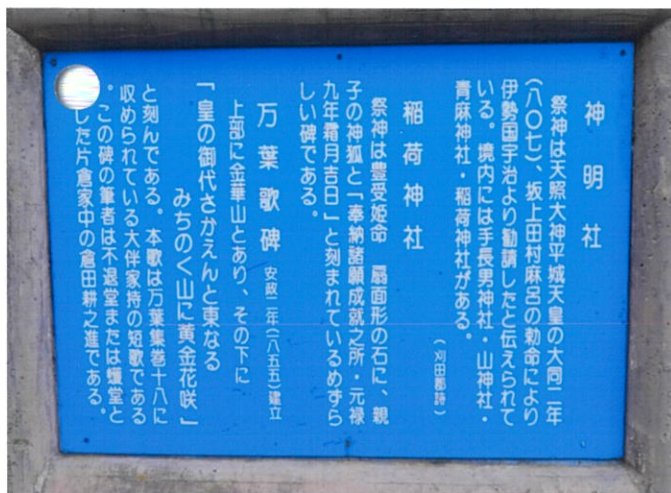




薬師堂の蠟梅の前にて



諏訪神社の伝説？



神明社の由来



長袋の神明社の境内前にて



水分神社の鳥居の向こうに本殿がある



堂田跡地には礎石が散在していた

令和3(2021)年度第二回 6月20日(日) 越河歴史探訪会
田村神社・諏訪神社・諏方南宮を温ねる旅

越河の史跡
 をたずねる旅

旧越河郵便局⇒8:58斎川の田村神社&甲冑堂⇒丑山下の諏訪神社⇒諏方南宮⇒旧越河郵便局11:20



斎川の田村神社拝殿前にて(中川宮司ご夫妻を囲んで)



丑山の永山家に伝わる
 諏訪神社の御神像
 建御名方神



丑山下の諏訪神社



田村神社の神馬

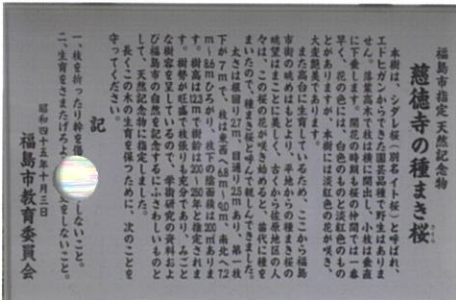


諏方南宮拝殿前の石の階段にて

8:38清水バス停⇒あつかし歴史館⇒伊達・桑折IC⇒東北HW⇒大笹生IC⇒フルーツライン⇒高湯街道⇒西部広域農道⇒福島市佐倉・伊達氏十六代輝宗の茶毘寺慈徳寺⇒同市小田位作山・伊達氏十四代植宗の墓所陽林寺⇒土湯街道『方木田食堂』『すき家』で昼食⇒同市舟場町・伊達氏十五代晴宗の墓所宝積寺⇒越河13:50



伊達氏十六代輝宗の茶毘寺・宝珠山慈徳寺ご住職飯東俊幸様を囲んで (後方の建物は慈徳寺本堂)



慈徳寺の種まき桜とは、



慈徳寺の山号 “宝珠山”

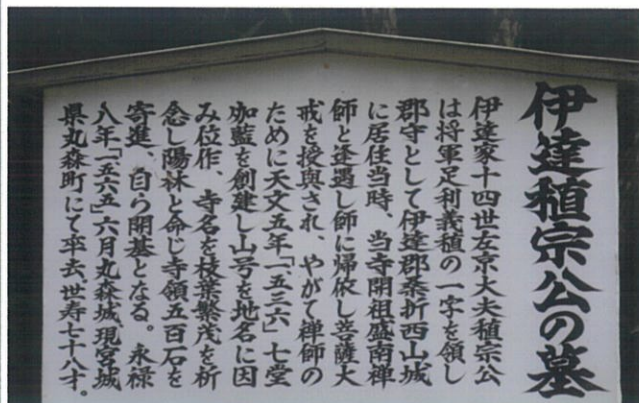


仏陀の教えの根幹 “縁”



陽林寺の観音堂

その観音堂に安置されている千手観音立像



伊達植宗公の墓



位作山陽林寺ご住職渡辺真之様を囲んで（陽林寺本堂前にて）

法界体性智（ほっかいたいしょうち）



陽林寺の山門を背にして



だいえん
きょうち



びょうどう
しょうち



みょうかん
ざつち



しょうじょ
ざち

